

# 第 6 期中間

## 事業活動のご報告

(2013年4月1日～2013年9月30日)



### 【表紙写真について】

P.T.アメルタインダ大塚 クジャン工場(インドネシア)。ポカリスエットの生産を行い、ISO14001認証を取得して環境保全活動にも取り組んでいます。“Open Spaceと地域社会との交流”をコンセプトとし、敷地内に近隣住民の皆様が地域社会交流の拠点として利用できるサッカー場、モスク、地域教育センターなどの施設を設置しています。

<http://www.otsuka.com/>

関連情報をホームページに掲載しています

財務情報や株式情報など、より詳しい情報をホームページに掲載しております。  
ぜひご覧ください。



証券コード 4578

大塚ホールディングス株式会社

## 独創的な発想を粘り強く具現化し 更なる成長を目指す

2013年度上半期における世界経済全体の状況は、徐々に回復に向かっていていると感じられます。新興国・資源国経済がひと頃に比べて減速している一方で、先進国経済の改善基調が続いています。国内景気については、実質GDPは前期比年率で高めの成長率を記録するなど緩やかに回復しています。また、長引く円高から円安への推移などを背景に、事業を取り巻く環境はこれらの背景が反映されてきている状況です。

一方、医療関連におけるグローバルな事業環境は、先進国のみならず新興国も含めて医療費抑制策や新薬承認審査の厳格化、後発医薬品の使用促進策の推進などにより、依然厳しい状況のもとに推移しました。国内においても後発医薬品の更なる使用促進策などが継続しており、少なからず事業への影響を受けています。

このような事業環境の中、当社グループは2011年度に公表した第一次中期経営計画における重点施策を着実に推進することにより、2013年度上半期においても増収増益を確保いたしました。

医療関連事業においては、世界60カ国・地域で販売する「エビリファイ」がグローバルで引き続き売上を拡大し、世界の全医薬品売上高第7位<sup>\*1</sup>に入るまでに成長しました。グローバル展開中の「サムスカ」は、電解質排泄の増加を伴わず水だけを出す利尿剤というまったく新しい医療上の価値が徐々に浸透し、日・米・欧で売上を拡大しました。国内においては、新薬である「アブラキサン」「イーケプラ」「サムスカ」などが予定通りに追加適応症の承認を取得するなど順調に売上を拡大し業績に貢献しました。また、医療関連事業のグローバル展開に関して、欧州における医薬品事業の更なる発展のため、2013年7月、臨床開発拠点となる新会社「大塚ヨーロッパD&C Ltd.」を英国・ロンドンに設立しました。更に、臨床栄養事業の



グローバル展開の加速のため、同年7月、「クラリス大塚(株)」をインド・アーメダバードに設立しました。一方、研究開発に関しては米国「アステックス社」を買収しました。同社の持つ優れた創薬技術と「TS-1」や「エビリファイ」を生み出した当社の強みであるがん領域、中枢神経領域の研究の組み合わせにより、創薬研究の強化を図ります。

ニュートラシューティカルズ<sup>\*\*2</sup>関連事業においては、「ポカリスエット」は国内において「ポカリスエット イオンウォーター」を2013年4月に発売し、ブランドの再認知が広がり販売数量は前年同期比二桁増となりました。更に世界17カ国・地域で展開する海外においても継続して販売数量が拡大しています。米国では、ファーマバイト社が米国東部アラバマ州の新工場を同年6月に竣工し、「ネイチャーメイド」の生産体制を強化しました。国内においては、身近で栄養豊富な大豆(Soy)が、地球上の健康問題・環境問題などの解決(Solution)になるという「Soylution」のコンセプトのもと、大豆パー「ソイジョイ」をはじめとする大豆の栄養をまるごと美味しく摂取できる製品の開発とグローバル展開に取り組んでいます。

今後も当社グループは“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に貢献することを目標に事業を展開するグローバルヘルスケア企業として、独創的な発想を粘り強く具現化し更なる成長を目指してまいります。

代表取締役社長 兼 CEO

樋口蓮夫

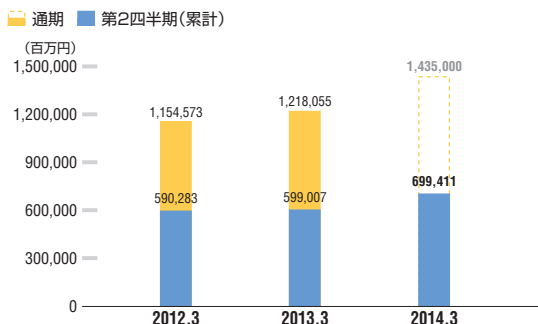
# 連結財務ハイライト(第2四半期累計)

## Financial Highlights

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

### 売上高

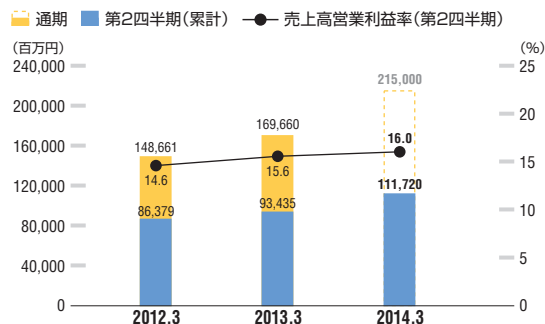
↑ 16.8%増(前年同期比)



抗精神病薬「エビリファイ」は、引き続きグローバルで業績を拡大させたこと、及び為替の好影響も加わった結果、売上高は大きく伸長いたしました。また、「ポカリスエット」は、国内において「ポカリスエット イオンウォーター」を2013年4月に発売し、徹底したプロモーション活動に注力した結果、販売数量は前年同期比で二桁増となりました。これらにより、売上高は699,411百万円(対前年同期比16.8%増)となりました。

### 営業利益

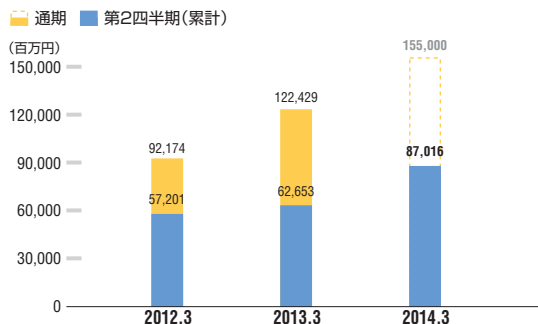
↑ 19.6%増(前年同期比)



営業利益は売上高の増加に伴う売上総利益の増加のほか、研究開発の進捗等による研究開発費の増加及び米国における販売体制強化による販売費及び一般管理費の増加の結果、営業利益は111,720百万円(対前年同期比19.6%増)となりました。

### 純利益

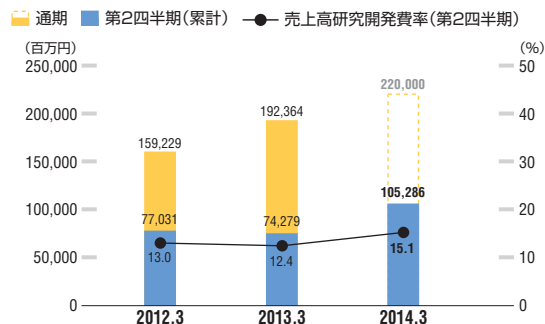
↑ 38.9%増(前年同期比)



経常利益は121,987百万円(対前年同期比27.7%増)となり、四半期純利益は87,016百万円(対前年同期比38.9%増)となりました。1株当たり四半期純利益は、159.92円となっております。

### 研究開発費

↑ 41.7%増(前年同期比)



研究開発費は、中枢神経領域を中心とした研究開発活動の進捗及び円安の影響により、105,286百万円(対前年同期比41.7%増)となりました。

### 配当金

当期における中間配当金は、1株当たり30円とさせていただきます。

当期の年間配当金につきましては、中間配当金を含め、1株当たり65円(うち期末配当金35円)を予定しております。

詳しい内容は、ホームページをご覧ください



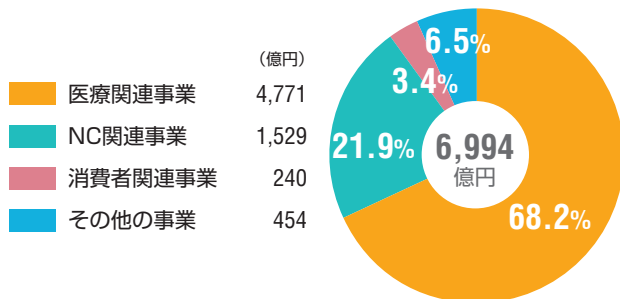
<http://www.otsuka.com/>

# セグメント別概況

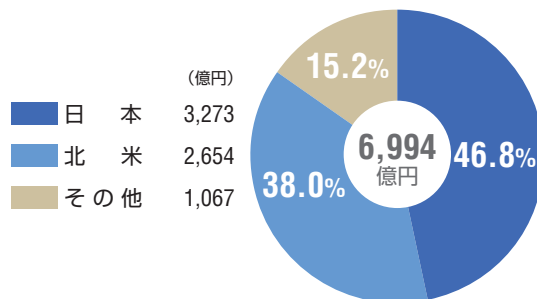
## Segment Information

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

### 事業セグメント別売上高(外部顧客に対する売上高)



### 地域別売上高(外部顧客に対する売上高)



## 医療関連事業

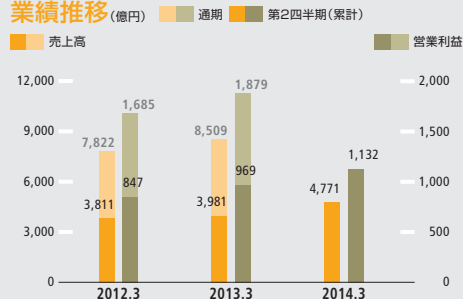
## Pharmaceutical Segment

中枢神経領域では、抗精神病薬「エビリファイ」が引き続きグローバルで業績を拡大しました。特に米国では、大うつ病補助療法や双極性障害での処方拡大、成長を牽引しています。ルンドベックA/Sとのアライアンスの取り組みであるアリピプラゾール持続性注射剤(月1回製剤)「Abilify Maintena」の発売を2013年3月に米国で開始し、順調に処方を拡大しています。欧州では同年9月に欧州医薬品委員会から統合失調症の適応症での販売承認の推奨意見を受理しました。また、ユーシービージャパン(株)と日本で共同販促を行っている抗てんかん剤「イーケブラ」は、小児への適応追加と剤型追加により処方を拡大しています。

循環器領域では、経口水利尿薬「サムスカ」がグローバルで売上を拡大しました。日本では2013年9月に肝硬変における体液貯留の適応追加承認を取得しました。がん・がんサポータブ領域では、抗がん剤「ティーエスワン」の新剤型である「ティーエスワン配合OD錠T20・T25」を日本で2013年6月に発売し、堅調に推移しました。抗がん剤「アブラキサン」は胃癌と非小細胞肺癌の効能追加などにより売上を大幅に拡大しました。また、プリストル・マイヤーズ スクイブ・カンパニーと日米欧で共同事業を進めている抗がん剤「スプリセル」は、グローバルで慢性骨髄性白血病のファーストライン治療薬として堅調に業績を拡大しています。臨床栄養分野では、高カロリー輸液「エルネオパ」が、順調に売上を拡大中です。



### 業績推移

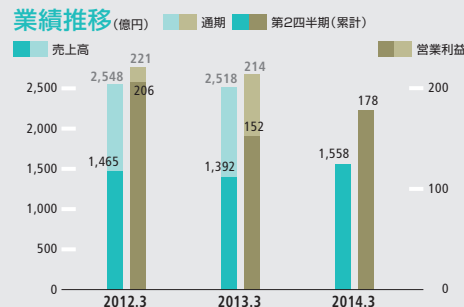


## ニュートラシューティカルズ関連事業

Nutraceutical Segment

水分・電解質補給飲料「ポカリスエット」は、日本では2013年4月に発売した「ポカリスエット イオンウォーター」が成長を牽引、海外では特にインドネシアと中国で引き続き販売数量が増加し、グローバルで業績を拡大しました。炭酸栄養ドリンク「オロナミンC」は、製品の機能や安心信頼の価値を高めるCMや営業活動により、販売数量が前年同期を上回りました。滋養強壮剤「チオビタ」は、滋養強壮剤市場全体の縮小や、流通在庫の適正化等により、前年同期の販売数量を下回りました。

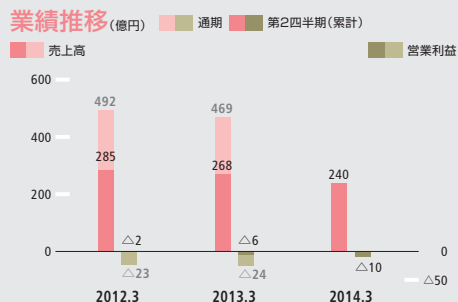
大塚グループは、大豆(Soy)が地球上の健康問題、環境問題などの解決(solution)になるとの考え「Soylution」で大豆関連事業を推進しています。ヘルシー大豆スナック「ソイカラ」は、「のり納豆味」、「オリーブオイルガーリック味」の2アイテムを追加しブランドの強化を図るなど、大豆バー「ソイジョイ」、大豆炭酸飲料「ソイッシュ」とともに同事業を推進しています。



## 消費者関連事業

Consumer Products Segment

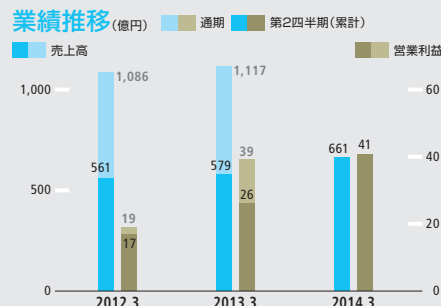
「クリスタルガイザー」を中心とするミネラルウォーターは、マーケティング活動を強化し、販売数量は前年同期比で微増となりました。ビタミン炭酸飲料「マッチ」は、高校生をコアターゲットとした積極的なマーケティング戦略、営業活動等を継続しましたが、販売数量は前年同期比で減少となりました。



## その他の事業

Other Segment

機能化学品分野では、自動車分野での国内の堅調な推移と北米市場の復調により摩擦材用「ティスモ」「テラセス」などが伸長し、国内における建築材料向け発泡剤等も引き続き好調で売上増に貢献しています。また、タイヤ用原料等も堅調に推移し、機能化学品分野全体で前年同期比で大幅な増収となりました。



※各事業セグメントの「業績推移」の金額はセグメント間の内部売上高または振替高が含まれています。

# 開発品の状況

## Pipeline Information

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

開発品目一覧 | 2013年9月末現在で第Ⅲ相臨床試験段階(フェーズⅢ)以降にある開発品目を以下に示します。  
(詳細は当社ホームページをご覧ください)

領域	開発コード/製品名(一般名)	効能/剤型	開発段階					
			日本		米国		欧州	
			フェーズⅢ	申請中	フェーズⅢ	申請中	フェーズⅢ	申請中
中枢神経領域	OPC-14597 (エビリファイ) (アリピプラゾール)	統合失調症/持続性注射剤	●					●
		自閉症/経口剤	●					
		トウレット障害/週1回経口剤・錠剤			●			
		双極性障害/持続性注射剤	●		●		●	
	L059 (イーケブラ) (レベチラセタム)	てんかん全般発作/経口剤	●					
		てんかん部分発作/注射剤		●				
		てんかん部分発作の単剤療法/経口剤	●					
	OPC-34712 (プレクスピプラゾール)	大うつ病補助療法/経口剤			●		●	
		統合失調症/経口剤	●		●		●	
		アルツハイマー型認知症アジテーション/経口剤			●		●	
がん・がんサポーター領域	S-1 (ティーエスワン) (デカフル・ギメラシル・オテラシルカリウム)	胃がん/経口剤			●			
		子宮頸がん/経口剤	●					
		肝細胞がん/経口剤	●					
	TSU-68 (orantinib)	肝細胞がん/経口剤	●					
	TAS-102	結腸・直腸がん/経口剤	●	●	●		●	
	SATIVEX (nabiximols)	がん性疼痛/口腔内スプレー製剤			●			
TAS-118 (デカフル・ギメラシル・オテラシルカリウム・ホリナートカルシウム)	膵がん/経口剤	●						
循環器領域	OPC-41061 (サムスカ) (トルバプタン)	常染色体優性多発性嚢胞腎/経口剤		●		●	●*	
		肝性浮腫/経口剤		承認				
その他領域	YP-18 (ゾシン) (ピペラシリンナトリウム・タソバクタムナトリウム)	発熱性好中球減少症/注射剤	●					
		OPC-12759E (レバミピド)	ドライアイ/点眼剤(マルチドーズ)	●				
		OPC-67683 (デラマニド)	多剤耐性肺結核症/経口剤	●	●	●		●
		OPB-2045G	消毒剤	●				
		ACU-4429 (emixustat hydrochloride)	ドライ型加齢黄斑変性/経口剤			●*		

\* フェーズⅡ/Ⅲ



### 医療関連事業

#### 大塚製薬

#### 米国アステックス社を買収



米国・本社カリフォルニア州ダブリン



英国・ケンブリッジ研究所

大塚製薬は、子会社を通じて、株式公開買付けによりアステックス ファーマシューティカルズ インク(本社:米国、以下「アステックス社」)を買収しました。\*

アステックス社は、1991年に設立されたバイオベンチャーで、英国ケンブリッジにフラグメント分子設計創薬研究所、米国カリフォルニアに臨床開発部門を有する企業です。創薬研究所では独自に進化させたフラグメント分子設計創薬技術を有し、臨床開発部門では過去8年間で“がんと中枢神経領域”において8つの新規化合物が臨床開発段階に移行しています。

優れた創薬技術と臨床開発力を併せ持った同社の買収により、がん領域のポートフォリオの拡充が図られるとともに、「エビリファイ」を生み出した大塚製薬の強みである中枢神経領域の研究との組み合わせによる、新たな作用メカニズムの中枢神経領域の医薬品を届けられるものと期待しています。

\*本公開買付け後の合併手続きは、米国東部時間2013年10月11日に完了しました。

### ニュートラシューティカルズ関連事業

#### 大麦β-グルカンではじめる健康朝食 「大麦生活」9月1日新発売

大塚製薬は、大麦β-グルカンを豊富に含む新ブランド「大麦生活」を発売し、大麦クラッカー、大麦ごはん、大麦ポタージュの3種類5アイテムを2013年9月1日から展開しています。

大麦β-グルカンには、糖質の吸収をコントロールする働きがあるほか、様々な健康機能を有するとされ、欧米で健康維持のために注目されています。この成分は、他のイネ科植物に比べ、大麦穀粒(約3~6%)に最も多く含有されているものの、大麦は独特の風味があり加工が難しいことから製品化が困難でした。

大塚製薬は大麦の機能的価値に注目し、独自技術により1食で1,000~3,000mgの大麦β-グルカンが摂れる「大麦生活」を開発しました。

「大麦生活」を摂り入れた新しい朝食のスタイルを提案し、大麦の魅力を提唱してまいります。



価格(税込)

大麦生活 大麦クラッカー 231円  
大麦生活 大麦ごはん・大麦ごはん和風だし仕立て 各210円  
大麦生活 大麦ポタージュ(クリーム・コーン) 各252円

「大麦生活」ブランドサイト

<http://www.otsuka.co.jp/oms/>

## ◎会社概要(2013年9月30日現在)

会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
資本金	816億900万円
本店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目9番地
東京本部	〒108-8241 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー
従業員	76名 (大塚ホールディングス連結従業員数:28,264名)
連結対象会社数	連結子会社 92社、持分法適用会社 17社

## ◎株式の状況(2013年9月30日現在)

●発行可能株式総数	1,600,000,000株
●発行済株式の総数	557,835,617株
●株主数	47,152名

## ◎大株主(2013年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野村信託銀行株式会社 大塚創業家持株会信託口	64,936	11.99
大塚エステート有限公司	24,011	4.43
大塚グループ従業員持株会	20,867	3.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	16,138	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	13,887	2.56
株式会社阿波銀行	10,970	2.03
東邦ホールディングス株式会社	7,270	1.34
大塚アセット株式会社	7,220	1.33
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	6,305	1.16
ザ バンク オブ ニューヨークトリティー ジャステック アカウント	6,290	1.16

(注)持株比率は自己株式(16,323,351株)を控除して計算しています。

## ◎株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	定時株主総会・期末配当金 中間配当金	3月31日 9月30日
定時株主総会	毎年6月	
1単元の株式数	100株	
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス <a href="http://www.otsuka.com/">http://www.otsuka.com/</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。)	

## ◎株式に関するお手続きについて

株式に関する各種お手続きにつきましては、ご所有の株式が記録されている口座(証券会社等の口座・特別口座)によって窓口が異なりますので、ご注意ください。

お手続き・ ご照会の内容	特別口座に 記録された株式	証券会社等の 口座に 記録された株式
単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・氏名等の変更 配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座の口座 管理機関である 「三菱UFJ信託銀行 株式会社」にお 問い合わせくだ さい。	口座を開設され ている証券会社 等にお問い合わせ ください。
特別口座の残高照会 特別口座から一般口座への振替請求	—	—
郵便物の発送・返戻に関するご照会 未払い配当金に関するご照会 その他株式事務手続きに関する一般的なご照会	株主名簿管理人である「三菱UFJ信 託銀行株式会社」にお問い合わせくだ さい。	

# 大塚ホールディングス株式会社

●詳しい内容は、ホームページをご覧ください

<http://www.otsuka.com/>

